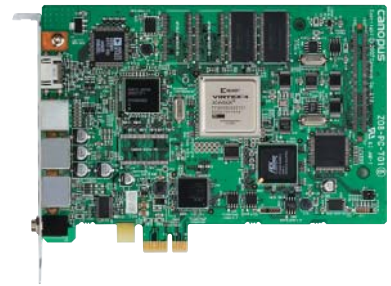


## 「フルHD」をそのまま録画 HD RECS

HIGH DEFINITION DIGITAL RECORDING SYSTEM

フルハイビジョン映像を、そのままキャプチャできる「HDRECS」。  
世界初「ハードウェアHQエンコーダ」を搭載し、HDMIやコンポーネント出力  
を持つ機器からの高精度キャプチャを実現しました。 ※カノプス調べ 2007年6月現在



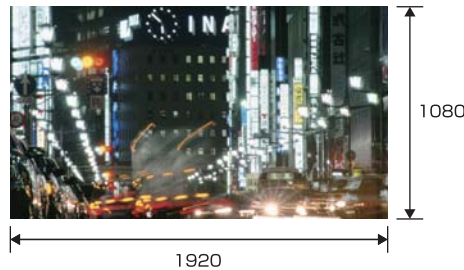
### フルHDキャプチャ対応

品質の良さから放送局などで採用されている映像コーデック「Canopus HQ Codec」により、オリジナルの周波数特性をほぼ完全に維持したまま、最大1920×1080解像度でのキャプチャに対応。フルHDの映像をダウンスケールさせることなくAVIファイルでキャプチャすることができます。

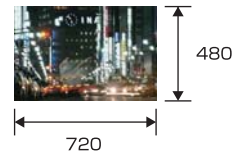
#### Point フルHDをそのままキャプチャできる!!

フルHDをそのままキャプチャできるHDRECSは、AVCHDビデオカメラで撮影したフルHDの映像もダウンスケールさせることなくそのままキャプチャします。従来のキャプチャボードに比べ、解像度が格段に違うので、鮮やかで鮮明な映像をそのままパソコンに保存することができます。

#### HDRECSの最大キャプチャ解像度



#### 従来のMPEG2キャプチャ製品の最大キャプチャ解像度



#### Point 圧倒的な高画質!!

放送局や映像プロダクションなどで採用され、映像のプロが認めたオリジナルの映像コーデック「Canopus HQ Codec」。カノプスが培ってきた高度な技術と可変ビットレート方式により、効率の良い圧縮を実現しています。ハイビットレートの鮮明でハイクオリティな映像を一度目にしてしまうと他の同等製品には戻れません。

#### HDRECSでキャプチャした映像

- ・フルフレームキャプチャ
- ・オリジナルを損なわない高画質
- ・ハイビットレートによる鮮明な映像



イメージ

#### 他社製品でキャプチャした映像

- ・コマ落ちが頻繁に発生
- ・細部がつぶれる
- ・細部の表現が甘い
- ・櫛ノイズが発生する



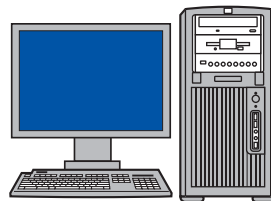
イメージ

### ハードウェアHQエンコーダ搭載

入力された映像ソースの変換処理をハードウェアで行う「ハードウェアHQエンコーダ」を搭載。CPUに負荷をかけることなく確実にフルフレームキャプチャを行います。

#### Point パソコンに負荷をかけずに安定したキャプチャ環境を構築!!

エンコードに専用ハードウェアを使用したり、データ転送にPCI-Expressを使用することで、比較的低スペックなパソコンでも安定したキャプチャが行えます。



- ・CPUに負荷をかけずにキャプチャが可能
- ・パソコン自体に負荷がかからない
- ・RAID構成しなくても動作するので、設備投資が軽減
- ・比較的低スペックのPCでもHDRECSが楽しめる
- ・ソフトでの難しい設定がないので、簡単に使える

### 映像表示のための高速スケーラを搭載

入力映像を非圧縮表示するための高速スケーラを搭載。映像をダウンスケーリングすることで、パソコンに負荷をかけずに映像をライブ表示できます。

